

## 第17回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時：令和6年2月6日（火） 14時00分～16時00分

場所：奈良県経済倶楽部 4F 会議室

出席者：委員長 松井 淳

委員 鹿取 悦子、柴田 昌三、杉山 拓次、中野 聖子、前迫 ゆり、  
山倉 拓夫

オブザーバー 文化庁文化財第二課（欠席）、春日大社 管理部 藤井主事  
奈良県ビジュアルビューロー 中西専務理事（欠席）

事務局 奈良県地域デザイン推進局奈良公園室

関係部局 《奈良県》水循環・森林・景観環境部景観・自然環境課（欠席）  
水循環・森林・景観環境部森と人の共生推進課（欠席）

奈良県森林技術センター

地域デザイン推進局奈良公園事務所

文化・教育・くらし創造部文化財保存課（欠席）

《関係機関》近畿中国森林管理局奈良森林管理事務所

奈良市都市整備部都市計画課

奈良市教育委員会文化財課

報告 （1）委員の交代について

（2）春日山原始林保全再生事業のこれまでの進捗状況について

議事 （1）令和5年度 春日山原始林保全再生事業について

議事要旨

報告

（1）委員の交代について

・委員の交代について報告した。

（2）春日山原始林保全再生事業のこれまでの進捗状況

・春日山原始林保全再生事業のこれまでの進捗状況について報告した。

議事

（1）令和5年度 春日山原始林保全再生事業について

・令和5年度 春日山原始林保全再生事業について原案通りで了承された。

・植生保護柵による後継樹・下層植生等の保全に関して、委員より RDB 種の出現箇所数だけでなく、出現箇所の環境条件にも着目する必要がある等の意見があった。

・外来種ナンキンハゼの侵入の抑制に関して、委員より、ナンキンハゼの実生や稚樹等の駆除実績についてもデータを示すこと等の意見があった。

・ナラ枯れの拡大の抑制に関して、委員より、ナラ枯れで生じたギャップにおける植生保護柵の設置について、積極的に検討すること等の意見があった。

・花山・芳山地区人工林の保全・利活用に関して、委員より、黒皮採取による利益を春日山原始林の保全活動の資金にすることや、原皮師の育成など伝統技術の継承の場として活用していくこと等の意見があった。

（2）その他

・委員より、春日山原始林の国天然記念物指定から 100 年の記念の取組について検討してはどうかとの意見があった。

・委員より 3 委員会の検討内容について互いに共有する必要があるとの意見があった。

・委員より、春日山原始林の保全のためには、シカの捕獲の可能性についても検討する必要があるとの意見があった。